

理事通信



VOL. 9 3月号

2011年3月1日発行



「飛翔たとうワイズスピリットを胸に」

“Forward with Y's men's spirit in our Hearts”

「泰然自若の精神で」 西日本区理事 仁科保雄



三寒四温が続いていますが、3月に入り我が家のサクラノボの木が今にも花を咲かせようとしています。西日本区の皆様にはご健勝でご活動をして戴いていることと思います。

過日MYC(ミッドイヤーカンファレンス)アジアエリア全域の年央会議が東京のアジアユースセンターにおいて開催されました。参加は韓国各区、台湾区、フィリピン区、SEA(東南アジア)区、スリランカ区の理事、そして日本から東西の理事が出席し、高田一彦AP(アジア会長)とICM(国際議員)の皆様を中心として会議がひらかれました。この中で、私達西日本区に關係する大変重要なことも数多くございましたのでご報告させていただきます。アジア区の現況として韓国が2011年7月1日に韓国エリアとして完全に独立し、新アジアエリアと個々の歩みを始めようとしています。

その中で、現状のアジアエリアとしての最後の大会が、韓国のYung-Hwan PAPをACCCとして、8月に台湾で開催されますが、今回のMYCの中で、次期韓国エリア会長のMoon Sang-Bong ワイズより、韓国は、今回のアジア大会には参加せず独自に韓国エリア大会の開催を計画しているとの発表がありました。これには、韓国以外からの参加者の多くが驚くと共に、台湾のHCC委員長が、自分達は「管鮑の交わり」を大切にしている事を、少し声を荒げて話され、前述のACCCの解任を要求するという場面もございました。一時は大変なことになりましたがお互いが長時間を費やし話し合った結果、新韓国エリアのAEO'sがアジア大会に予定通り出席の意向を示したためやっとのことで決着いたしました。又、2013年の次期アジア大会開催地をどこにするかに付いて、西日本区での開催打診がございました。MYCの直前に各区に対して開催地について今回のMYCにおいて検討するとの案内はありましたが、具体的な打診も情報も聞いていないのと、昨年は国際大会が日本であった事、メンバー数の減少があり予算的に大変な無理があること等をお話しし、西日本区としてこの場での決定、即答は出来ない旨、表明させていただきました。併せて、新アジアエリアにおける4000名のメンバーの75%を東西日本区が締める事、又、西日本区が、新アジアエリア最大の区である責任は十分に理解していることから国際役員、アジア会長を輩出したときには盛り上がった大会をホストできるのではないかと云うことを話し、アジア役員の方々には了解して戴いたようでした。決定するにはもっと期間をかけて各地の会長様とのコンセンサスを得る必要があると思いますが、やはり私達の思いとは大きな隔たりがありました。これらの表明の後、フィリピン区が、手を挙げて頂き2013年のアジア大会はフィリピンで開催されることになりやっとなつて決着いたしました。日本も北海道で行われたアジア大会以後十数年の間、開催していないので次々期には西日本から国際議員、アジア会長を輩出しなければならない所まで来ています。今からその時に備えた準備と、心構えをしておく必要があると思います。西日本区出席者は私、仁科保雄、大槻信二、北村久美子の3名でした。

2月には西中国部の岩国クラブが10周年記念事業として「岩国みなみクラブ」を設立して戴き、私達も出席させていただきました。多くのワイズメンの祝福を受けられ、盛大な祝賀会と設立総会でした。チャーターは5月に行われ、新会長は高瀬稔彦ワイズに決定しています。このことは今期のメンバー増強に大きく寄与して戴けることとなります。

また、メネット事業におきましても大阪なかのしまクラブの皆様のおかげで素晴らしいチャリティーコンサートを開いて戴き会場に溢れんばかりの来場者があり大成功であったと感じました。いつもながらのメネット事業へのご支援を賜り感謝を申し上げます。

3月の理事通信は事業の日時的に逆な書き方になりましたが、西日本区に与える影響の大きさに新アジアエリアに対する西日本区の重要性に鑑み、先に書かせていただきました。悪しからずご容赦戴きますように。

最後に諸事業や献金の申請締切りが2月15日となっていました。残念ながら期日を過ぎて申請いただいたクラブが2~3あり大変残念な結果となりました。申請は期日をたがわぬようお願い致します。せっかく努力を戴いた結果を先送りしてしまうことになってしまいますので、くれぐれもこれから申請の期日が来るものもありますのでご注意をお願い申し上げます。

3-1 3月度強調月間 EF・JWF

個人や、家族や、クラブなどでの色々なハッピーニュース・ラッキーニュースを記念して、
ワイズダム発展のために献金しましょう。

杉浦 英ファンド事業主任

3-2 次期会長・主査研修会が開催されます。

3月12日(土)～13日(日)の日程で、チサンホテル新大阪にて次期会長・主査研修会が開催されます。次期に向けて、区方針や計画の他、事業主任の皆さんと事業主査の皆さんの時間、各部毎に別れての次期計画や方針の確認の時間等が設けられています。これからの4ヶ月の次期への準備期間を実りあるものにして下さい。

3-3 後期区費ならびに、各種献金ありがとうございました。

2月末現在で、1クラブを除く各クラブの皆様より、後期区費並びに各種献金のご送金を頂きました。感謝申し上げます。大半のクラブ様は、期日の2月15日までにご送金いただきましたが、やはり幾つかのクラブは期限後となったことは、大変残念です。期日までに送金頂きました区費・各種献金より、国際会費並びに、国際プログラムに関わる献金に付いては、2月24日に国際本部宛、送金させて頂きました。期日以降入金分に付きましては、入金完了後2次送金として国際へ送金させて頂く予定でございます。

3-4 Booster Member Award

2010.02.01～2011.02.01の間に、3名以上のメンバーをリクルートされたメンバーに贈られる、Booster Member Awardに付いて、期限内にご申請頂きました4クラブ7名の方について、アジアエリアMC主任を経由して国際へ申請させて頂きました。これらの方について、8月のアジア大会において、区代表へ賞が授与されます。各メンバーへの授与を本年は各部会内で行いましたが、今回分については、次期よりの発表をお待ちください。

3-5 霧島新燃岳噴火・ニュージーランド大地震等への支援について

鹿児島YMCAやYMCA同盟にて支援方法が検討されています。間もなく発表されますので、発表があり次第内容に基づいて区・部・クラブでの取り組み方法について皆様へご連絡させて頂きます。

3-6 次期国際議員選挙について

前月号にてお知らせいたしましたICME再選挙について、アジアエリアの各区より4名の推薦・立候補者がございました。国際選挙の規定に基づき、アジアエリアMYCにおいて、各区理事の無記名投票による投票の結果以下の3名の方が、候補者に決定致しました。選挙投票に付きましては、間もなく国際本部より発表があります。発表あり次第、各クラブ会長の皆様へ投票用紙を、御送付させて頂きます。前回IPE選挙に際しましての西日本区の投票率が大変悪かった事がレポートされています。必ず期日までの投票を心掛けて下さい。

アジアエリアICME再選挙候補者

- Oliver Wuワイズメン 台湾区
 - Edward K.W. Ongワイズメン SEA区シンガポール
 - ANTON KANDIAH ワイズメン スリランカ区
-

3-7 10-11年度西日本区代議員会の公示について

2011年6月11日午前11時より、京都市交流会館において、本年の年次代議員会が開催されます。各クラブ会長の皆さん・部長の皆さん・直前部長(部選出)の皆様が代議員です。

3月19日までに、正式な公示が区より行われ、議案の蒐集と出欠確認、委任状の処理等を行います。尚、代議員の方々に付いては、本年度区規定により、交通費が支給されます。

3-8 岩国クラブ設立10周年記念例会・岩国みなみ仮ワイズメンズクラブ設立総会が挙行されました。

2011年2月5日(土)岩国YMCA国際医療福祉専門学校において、岩国クラブ設立10周年記念例会及び岩国みなみ仮ワイズメンズクラブ設立総会が、開催されました。

CN(チャーターナイト)は、本年5月28日に開催予定。

新たな仲間の誕生を、お祝い申し上げます。



3-9 アジアエリア年央会議 (MYC)



2011年2月25日(金)～27日(日) アジアユースセンター(在日本韓国YMCA 東京)においてアジアエリアMYCが開催されました。

現行のアジアエリアにおける最後のMYCであることから、韓国2区の理事を除く、大半の役員の出席もとの開催となりました。

25日は、17:00～の開会ということで、高田一彦APの歓迎挨拶、ウイッチャンAPEによる開会祈祷、藤井寛敏IP等の祝辞のあと、出席者全員が自己紹介を行いました。

この後、高田APより、新韓国エリアとアジアエリアのAPEE(次々期会長)についての報告がありました。この中で、エリアからのICMが、APを務める規約から、新アジアエリアにおいては、今回のICME再選挙により選出された国際議員が、2012年7月からのアジア会長を務めることと、今回の

再選挙に際して、4名の推薦・立候補者があったことが報告され、国際の規約により、本MYCの中で、6名の新アジアエリアを構成する理事による無記名投票により、候補を3名に絞ることが発表されました。1人の理事が、4名の候補者中、3名を投票するという形のもので、その場で、投票用紙が配布・回収され翌朝1番に結果が、発表されました。

26日は、参加各区夫々より前半期の実績と残された期の活動方針が発表されました。又、アジアエリアの事業主任・各種委員会委員長よりの発表もございました。アジアエリアタスクフォースの長尾ひろみワイズの報告から、本MYCを正式なACMとして、4つの動議が提案され協議・承認されました。その結果、現行のアジアエリアの資産について、経常会計は勿論、総てのFundを含んだ資産を、2011年7月1日をもって新アジアエリアと新韓国エリアに50%づつに分割することが、決定いたしました。その後、アジア大会に付いてのアピールがありました。これに関連しての一騒動は、理事巻頭言に記載の通りです。最終日の27日は、新アジアエリアと、新韓国エリアとに別れての会議から始まりました。この中で、新アジアエリアの事務所を何処に置くのかという事も議論されましたが、結論には到りませんでした。この後、AEO'sの会合で調整されることとなりますが、これに伴い、「アジアエリア運営ガイドライン」のエリア内承認まで行くことは出来ませんでした。最終的には、ガイドラインは、国際の承認があって正式に発行されますが、それまでは、現行の「アジアエリア運営ガイドライン」を、実情にあった形で運用して行くことになりそうです。又、2013年のアジア大会開催地の決定に付いても理事巻頭言の通りです。

最後に、もう一度、全員が集まっての会議となりましたが、新アジアエリアと新韓国エリアにおいて、RDEトレーニングを交互に両エリア合同で行うことが発表され、今後もアジアエリアと韓国エリアが、良好な関係を保って行こうとのアピールがありました。前日からの流れの中で、参加者の多くが複雑な表情であった感は拭えませんでした。

とは言え、前を向いて進むワイズメン運動において、新アジアエリア4000名中、1700～1800のメンバーの私達、西日本区が40%超の勢力を有することは、とりもなおさず、その発言権と共に、アジアエリアに大きな責任を持たねばならない事、より以上の役割を担わなければならないことを、西日本区のメンバー全員の皆様と共有することの必要性を感じた今回のMYCでした。

ワイズのモットー『強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う』

3-10 第14回西日本区大会のご登録はお済みですか？

ご案内を各クラブのメンバー分をまとめて送付しております。各クラブに於いて、代表者が『参加申込書』をまとめてクラブ一括でお申し込みをお願いします。

申込締切は4月末日ですが、できましたら3月初旬までにお申込をお願いします。

大会案内、申込書は大会ホームページからもご覧いただけます。

第14回西日本区大会ホームページ <http://14thregionalconvention.web.fc2.com/index.html>

(第14回 西日本区大会実行委員会)